

令和6年度 第1回砺波市特別職報酬等審議会会議録（要旨）

1 開催日 令和7年1月10日（金） 午前10時00分～10時58分

2 場所 砺波市役所 本館3階 特別会議室

3 出席者 <審議会委員>
井上会長（委員の互選により）、堀田委員（会長職務代理者）、川瀬委員、
齋藤委員、米原委員
※武田委員、土田委員は欠席

<市長・市事務局>
夏野市長（あいさつ及び諮問書手交）
島田企画総務部長、二俣総務課長、飯田人事係長、三部行政係長

4 次第及び審議内容

- (1) 市長あいさつ
- (2) 会長の互選及び会長あいさつ
- (3) 市長から会長へ諮問書の手交
- (4) 審議（会長職務代理者の選任、審議会の公開の決定、資料説明、諮問事項の意見交換）
- (5) その他

5 意見交換の概要

- ・議員報酬の増額については、働く者の立場から言えば、昨今の物価高や社会情勢の変化などについて議論する然るべき時期である。
政務活動費については、市民を始め国民は良いイメージを持っていない。しかし、イメージが悪いという理由で廃止をすることには反対である。廃止する理由について明確な説明をして欲しい。
- ・議員報酬が十何年も変わっていないことや、物価が変わってきていることもあるので上げるべきである。議員になりたい方がいない現状も含めて考えると、上げることは必要。
- ・議員が身を削り議員定数を2人減らしたことについては勇気ある判断だったと評価する。議員定数は、議員報酬の増額のために減らしたのではなく、16人という人数がふさわしいからとの理由で決断されたものと理解している。
- ・議員報酬については、いろいろな地域の方とも話をしてみて、議員のなり手がいない原因の1つであることを聞いており、何らかの判断が必要ではないかと考える。
引き上げ額が5万円がベターか、との考えもある。
- ・政務活動費を削ったことについては異議がある。不透明なお金であるようなイメージがあるかもしれないが、砺波市はこれまでもきちんと明確な支給をするための取組をしている。政務活動費を削ることは、他市の議員にも影響を与える問題であり「なぜ政務活動費をカットするのか」について、議員の声を聞きたい。
- ・議員報酬の見直しは時代の流れであり、議論することはいい試みだ。議員定数を削減したからその分議員報酬を上げるという解釈は違うと思う。

- ・ 砺波市だけが政務活動費の廃止をするには説明の義務がある。全廃までしなくても良いのではないかと考えるが、理由を議員から聞きたい。
- ・ 議員報酬は当然上げるべきだと思うが、中小企業の多くは上げたくても上げられない。中小企業は苦しんでいるということを、議員の皆さんには謙虚に受け止めていただきたい。
- ・ 私は平成16年の時から議員をしていた。合併時は在任特例により29人の議員だったが、徐々に減り18名までとなった。しかし、議員報酬はそのままになっている。これまで、2回ほど議員報酬引き上げの議論はあったが、東日本大震災や他市での政務調査費（政務活動費）の不正問題で議論を取り下げたという経緯がある。議員からの申入れの理由は新聞で見た範囲でしか分からないが、最後は「市民の皆さんに迷惑をかけてはいけない金額」で、議員がいろいろ検討したところ、今回の申入れである政務活動費の廃止を決められたのではないかなと思う。議員時代の手取りは少なく、生活するには正直辛かった。今の議員は子どもの養育等を考えると大変だと思う。
- ・ 一年生議員達に聞いてみたが、政務活動費を廃止して、その分報酬を上げていただければうれしいが、これまで政務活動費で行っていた活動が鈍くなるのではないかと心配があるとのことだった。議員の自由な発想も大事である。
- ・ 政務活動費は砺波市より高いところもある。砺波市の議員は、金額としては本当に質素に議員活動を行っている。
- ・ 以前、議員への出馬をお願いに行ったときは「生活できない」との理由で断られたこともあった。
- ・ この政務活動費の廃止は決定事項なのか。決定事項でないのであれば、議員の話を聞いてから決めたいと思う。
- ・ 議員報酬は企業の中ではどのようなランクに位置づけられるのか。
（委員から）高い方に位置すると思う。
- ・ やる気のある議員が出てくることを期待しているし、議員がやる気が起きるような取り組みをして欲しいと思う。
- ・ 大手企業では、昨年5%、今年も5%以上の賃上げを、労使の合意で引上げられている。今回十何年ぶりの議員報酬の引き上げとなっているが、議員がしっかり活動してもらうことが大事である。一方、中小の賃上げはまだ追いついていない。
- ・ 今回は第1ステップ。今後も、3年、5年などの間隔で報酬についての議論が必要ではないかなと思う。見直しがないのであれば、また議員のなり手がいなくなることになるのではないかと心配である。